

4 電気電子情報工学科

(1) 実践教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
実践 教育 科目	電気電子情報工学入門	1	必修 1・ 選択 7 以上 合計 8 以上	2									全員履修	
	学習リテラシー	1		2										全員履修
	電気電子情報創造演習	①		2										
	コンピュータリテラシー	2		2										全員履修
	テクニカルライティング1	1		2										※全員履修
	テクニカルライティング2	1			2									※全員履修
	キャリアプランニング	2			2									全員履修
	キャリアデザイン1	1				2								
	キャリアデザイン2	1					2							
	インターンシップ	2					2							(集中)
	実践特別科目	2						2						単位認定科目
小 計	15	8以上	12	2	2	2	4	2	0	0				

※テクニカルライティング1、2 の全員履修は留学生に対して適用しない。

区分	科目	単位	最卒業 最低資格 単位数	週時間数								備考				
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
総合 教育 科目	言語 文化 科目	英語(Listening & Speaking)1	1	4 以上 8 以上 (20 以上)	2										(集中)	
		英語(Listening & Speaking)2	1			2										
		英語(Listening & Speaking)3	1				2									
		英語(Listening & Speaking)4	1					2								
		TOEIC上級(Listening)1	1				2									
		TOEIC上級(Listening)2	1					2								
		英語(Reading & Writing)1	1			2										
		英語(Reading & Writing)2	1				2									
		英語(Reading & Writing)3	1					2								
		英語(Reading & Writing)4	1						2							
		TOEIC上級(Reading)1	1					2								
		TOEIC上級(Reading)2	1						2							
		英語総合(上級)1	1							2						
		英語総合(上級)2	1								2					
	英語海外研修	2				2	2									
	初修 外国 語	初修外国語入門1	1		2											
		初修外国語入門2	1			2										
		初修外国語初級1	1				2									
		初修外国語初級2	1					2								
		初修外国語総合1	1						2							
		初修外国語総合2	1							2						
		初修外国語海外研修	2				2	2							(集中)	
		日 本 語	日本語読解1	①		2										留学生向け科目
	日本語読解2		①			2									留学生向け科目	
	日本語作文1		①		2										留学生向け科目	
	日本語作文2		①			2									留学生向け科目	
	上級日本語読解1		①				2								留学生向け科目	
	上級日本語読解2		①					2							留学生向け科目	
	上級日本語作文1		①					2							留学生向け科目	
	上級日本語作文2		①						2						留学生向け科目	
身 体 科 学 科 目	スポーツ科学実習1	1		2												
	スポーツ科学実習2	1			2											
	スポーツ科学	2				2										
	運動科学	2					2									
小計		98	20以上	42	36	22	24	4	4	0	0					

1 学則・奨学関係（131-2 大阪産業大学工学部修学規程）

注）総合教育科目の履修要件

- イ 1年次配当の英語については、プレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。
ただし、英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない。
- ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。
- ハ 初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語から構成され、複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。
ただし、各言語は、必ず「入門1」から履修しなければならない。
- ニ 留学生は、日本文化の4科目8単位および日本語の8科目8単位を必修とする。
なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。
- ホ 留学生には英語のプレイスメントテストを実施しない。

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

(履修コースの○印は必修科目、□印は選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目を表す。)

区分	科目	単位	卒業資格最低単位数		週時間数								備考			
			電気電子工学 コース	電子情報工学 コース	1年次		2年次		3年次		4年次					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門 教育 科目	電気電子 工学 科目	発変電工学	2	□	20 以上	必修 26 ・	必修 26 ・				2				指定先行履修有	
		送配電工学	2	□							2					指定先行履修有
		電気機器工学	2	□								2				指定先行履修有
		電気応用工学	2	□								2				指定先行履修有
		パワーエレクトロニクス	2	□									2			
		電子物性論	2	□							2					
		電気電子材料	2	□								2				
		半導体工学	2	□									2			
		計測とセンシング	2	□								2				
		電子回路設計	2	□										2		
		光・電磁波工学	2	□										2		
		光エレクトロニクス	2	□											2	
		電子情報 工学 科目	情報通信工学1	2				□	20 以上	選択必修 32 以上	選択必修 32 以上			2		
	システムと制御		2	□										2		
	情報通信機器		2	□											2	
	デジタル信号処理		2	□											2	
	アルゴリズムとデータ構造		2	□								2				
	情報理論		2	□									2			
	ソフトウェア工学		2	□										2		
	情報セキュリティ	2	□								2					
情報通信工学2	2	□							2							
情報ネットワーク	2	□								2						
組込システム	2	□								2		指定先行履修				
情報メディア工学	2	□								2						

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

(履修コースの○印は必修科目、□印は選択必修科目、一印はコースによって履修できない科目を表す。)

区分	科目	単位	卒業資格最低単位数		週 時 間 数								備 考	
			電気電子工学コース	電子情報工学コース	1年次		2年次		3年次		4年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門 教育 科目	電気電子情報基礎演習1	2	○	○		4								履修制限有 (集中)
	電気電子情報基礎演習2	2	○	○			2							
	電気電子情報工学基礎実験	2	○	○				4						
	電気電子工学実験	2	○	□					4					
	電子情報工学実験	2	□	○						4				
	電気電子情報工学ゼミナール	2	○	○						4				
	電気設備工学特別講義	2		—	3 2 以上			2						
	電気電子工学特別講義	2		—	—					2				
	電力工学特別講義	2		—	3 0 以上						2			
	産業財産権	2			—					2				
	電波・通信事業法規	2			合 計 8 8 以上							2		
卒業研究	4	○	○	—							8	8		
小計	154	154	88 以上	148	88 以上	26	22	24	28	32	28	18	8	
実践教育科目、総合教育科目、専門教育科目 合計	267	267	124	261	124	78	60	48	54	40	34	18	8	

1 学則・奨学関係（131-2 大阪産業大学工学部修学規程）

注) 専門教育科目の履修要件

I. 全コースに適用されるもの

イ 各分野において定められた最低要件単位数を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位数に算入することができる。

ロ 備考欄中の表記

(1) ●と◎は、数学プレースメントテストの結果によって履修の順序が指定される科目

(●の場合) 「基礎数学および演習」→「解析学1」「代数学1」「数学演習1」

→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」

(◎の場合) 「解析学1」「代数学1」「数学演習1」→「解析学2」「代数学2」「数学演習2」

→「解析学3」「代数学3」

(2) ●の科目を履修する者は、「解析学3」「代数学3」を履修することはできない。

(3) ◎の科目を履修する者は、「基礎数学および演習」を履修することはできない。

(4) ▲と△は、物理プレースメントテストの結果によって履修の順序が指定される科目

(▲の場合) 「基礎物理学および演習」→「物理学1および演習」

(△の場合) 「物理学1および演習」→「物理学2」

(5) △の科目を履修する者は、「基礎物理学および演習」を履修することはできない。

(6) 全員履修科目は、必ず履修しなければならない科目(必修科目ではない)であり、原則として、習熟度別で複数のクラス編成をおこなう。

(7) 指定先行科目

「発変電工学」「送配電工学」「電気機器工学」および「電気応用工学」を履修するためには、「回路の基礎」「電気回路1」

および「基礎電磁気学1」をあらかじめ修得していなければならない。

「組込システム」を履修するためには、「基礎プログラミング1」および「基礎プログラミング2」をあらかじめ修得していなければならない。

(8) ★は、前期に修得できなかった者が、後期に履修申請の変更により、履修できる科目

II. 電気電子工学コースおよび電子情報工学コースに適用されるもの

イ 卒業要件単位数は、必修科目26単位、選択必修科目32単位および選択科目30単位以上、合計88単位以上とする。

ロ 専門基礎科目分野(共通科目)および専門総合科目の選択必修科目(13科目26単位)の中から、12単位以上を修得すること。

ハ 専門応用科目分野の選択必修科目は、20単位以上を修得すること。

ニ ロおよびハの選択必修科目の卒業資格最低単位数を越えて修得した単位数は、選択科目の単位数に算入する。

ホ 「電気電子情報工学ゼミナール」を履修するためには、3年次前期履修登録時に卒業要件単位数を58単位以上修得していなければならない。

IV. コース変更

・コース変更は学科で承認された場合にのみ認めるものとし、変更時期は3年次までの毎学年始めの履修申請時とする。コース変更により、在学年次に変更は生じない。なお変更は、在学中で1回限りとする。

◆コース変更後の所属コースでの履修要件について

コース変更後、直ちに所属コースの履修要件が課せられる。

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

二. 中学校教諭一種免許状・数学(電気電子情報工学科/数学コース)

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位	最低修得単位数	週 時 間 数								備 考		
					1年次		2年次		3年次		4年次				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教科に関する専門的事項	代数学	代数学1	②	左記より必修を含め28単位以上	2	(2)									
		数学演習1	①		2	(2)									
		代数学2	②			2	(2)								
		代数学3	2				2								
	幾何学	幾何学1	②					2							
		幾何学2	②					2							
		応用数学1	2					2							
		応用数学2	2							2					
	解析学	解析学1	②			2	(2)								
		解析学2	②				2	(2)							
		数学演習2	①				2	(2)							
		解析学3	2					2							
	「確率論、統計学」	確率と統計	②					2							
		情報理論	2							2					
	コンピュータ	計算機工学概論	②					2							
		アルゴリズムとデータ構造	②						2						
		デジタル回路	2							2					
		組込システム	2								2				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	数学科教育法1	②				2									
	数学科教育法2	②					2								
	数学科教育法3	②						2							
	数学科教育法4	②							2						
合 計			42	28以上	6	6	12	8	8	4	0	0			

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

ホ. 高等学校教諭一種免許状・数学(電気電子情報工学科/数学コース)

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
教科に関する専門的事項	代数学	代数学1	②	左記より必修を含め24単元以上	2	(2)							
		数学演習1	①		2	(2)							
		代数学2	②			2	(2)						
		代数学3	2				2						
	幾何学	幾何学1	②				2						
		幾何学2	②					2					
		応用数学1	2					2					
		応用数学2	2						2				
	解析学	解析学1	②		2	(2)							
		解析学2	②			2	(2)						
		数学演習2	①			2	(2)						
		解析学3	2				2						
	「確率論、統計学」	確率と統計	②					2					
		情報理論	2						2				
	コンピュータ	計算機工学概論	②				2						
		アルゴリズムとデータ構造	②					2					
		デジタル回路	2						2				
		組込システム	2							2			
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	数学科教育法1	②				2						
		数学科教育法2	②					2					
数学科教育法3		2					2						
数学科教育法4		2						2					
合 計		42	24以上	6	6	10	10	10	2	0	0		

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

へ. 高等学校教諭一種免許状・情報(電気電子情報工学科/情報コース)

(単位数を○でかこんだものは教職必修科目)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位	最低修得単位数	週 時 間 数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	コンピュータリテラシー	②	左記より必修を含め 26 単 位 以 上	2									△ 実習を含む。 実習を含む。 実習を含む。 実習を含む。 実習を含む。	
		産業財産権	②						2						
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	基礎プログラミング1	②			2									
		計測とセンシング	2						2						
	情報システム(実習を含む。)	システムと制御	2							2					
		基礎プログラミング2	②				2								
		応用プログラミング	②				2								
		論理回路	2				2								
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	ソフトウェア工学	2							2					
		情報セキュリティ	2								2				
		情報ネットワーク	②							2					
		電子情報工学実験	②						4						
	マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)	情報通信工学1	2				2								
		情報通信工学2	2						2						
		情報通信機器	2								2				
	マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)	電気電子情報基礎演習2	②				2								
		デジタル信号処理	②							2					
		情報メディア工学	2							2					
	情報と職業	情報と職業	④						2	2					
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	情報科教育法1	②							2					
情報科教育法2		②							2						
合計			44	26以上	2	2	4	6	14	14	4	0			

注)備考欄中の△印は、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」指定科目

1 学則・奨学関係 (131-2 大阪産業大学工学部修学規程)

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分 及び各科目に含めることが必要な事項	授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								中 学 校	高 等 学 校	算 入 科 目 単 位
			1年次		2年次		3年次		4年次				
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2							◎	◎	※
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2	2							◎	◎	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	2		2						◎	◎	
		人権教育	2			2					○	○	※
		生涯学習論	2		2						○	○	※
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2							◎	◎	※
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2			2					◎	◎	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2				2				◎	◎		
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及び 道徳、総合的な学習の時間の指導法	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2			2					◎	○	※
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2					2			◎	◎	
	特別活動の指導法												
	教育の方法及び技術	教育方法論	2	2							◎	◎	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育とICT活用	1				1				◎	◎	(集中)
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	2		2						◎	◎	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法												
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2			2					◎	◎		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習1	1				2	2			◎	◎	事前・事後指導
		教育実習2a	4						8		◎		(集中)
		教育実習2b	2						4			◎	(集中)
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2							2	◎	◎	
合 計			36	4	4	6	8	5	4	12	2		

注)

1. 高等学校教諭普通免許状においては、事項「総合的な学習の時間の指導法」は「総合的な探究の時間の指導法」となる。

注)

2. イ 備考欄中の◎印は、各免許の必修科目

ロ 備考欄中の○印は、各免許の選択科目

ハ 備考欄中の※印は、電気電子情報工学科のみ、総合教育科目区分の卒業要件単位として算入する。

(3)大学が独自に設定する科目

授 業 科 目	単 位	週 時 間 数								備 考
		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
道徳教育の理論と方法	2				2					
合 計	2	0	0	0	2	0	0	0	0	

注)上記科目は、高等学校教諭一種免許状取得希望者にのみ適用される科目とする。